

<b>チウラム・ベノミル水和剤</b> <b>ベンレート T 水和剤 20</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興、一農、琉産  <b>原体メーカー：</b> 大内新興、住友化学
<b>成分：</b> チウラム〔有機硫黄 PRTR・1 種〕……………20.0% ベノミル〔ベンズイミダゾール系 PRTR・1 種〕…20.0%	<b>性状：</b> 灰色水和性粉末 45 $\mu$ m 以下 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 作用機作，特性はベンレート水和剤，チウラム 80 の項参照。
- ベノミルとチウラムを組み合わせることにより幅広い抗菌スペクトラムを目的とした。
- リゾクトニア，フザリウム病菌にも有効。
- 種子消毒（稲）ではいもち病，ごま葉枯病，ばか苗病の他，イネシנגレセンチュウにも効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 薬液の調製は少量の水で糊状としたのち所定量の水を加えよく攪拌する。

#### 〈種もみ〉

- 消毒後の種もみの水切りは完全に行う（4～5 時間以上）
- 浸漬法ではもみ表面の気泡をとり，薬液が直接もみに接するようにする。
- 大量のもみを粉衣消毒する時は，オートリバー混合機，コンクリートミキサー，ポットミキサー又はモルタルミキサーを使うと省力的である。

#### 〈野菜類〉

- 乾粉衣を行う時は，濡れたビニール袋などは使用しない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 水稻の種子消毒の場合は次の注意事項を守る。
  - 種子消毒は浸種前に行い，水洗いせずに浸種する。
  - 10℃以下の薬液の使用はさける。
  - 浸漬処理薬液ともみの容量比は 1：1 以上とし，サラン網などの目の粗い袋を使い処理時に

ゆする。

- 低濃度（200～400 倍）長時間浸漬の場合は浸漬処理中に 1～2 回攪拌する。
- 吹付け処理の場合には専用の消毒機を使用し種もみに均一に付着させ乾燥する。処理後長期間保存の場合は薬剤処理を明記する。
- 塗沫処理の場合は容器内で種もみをよく攪拌しながら薬液を滴下し，種もみに均一に付着させる。
- 粉衣処理の場合は容器の中で所定量が均一につくように少量ずつ粉衣する。粉衣は種子を湿らせ（塩水選水切り後）湿粉衣とする。
- 稲の苗立枯病防除に使用する場合，リゾブス菌，トリコデルマ菌，フザリウム菌に対する防除を主体とし，多発生のビシウム菌には効果が劣ることがあるので注意する。
- 処理後の水稻の種子の浸漬には次の注意事項を守る。
  - 処理した種もみ（吹付け処理は除く）は，風乾後浸種する。
  - 浸種は停滞水中で行う。
  - 浴比は 1：2 として水の交換は行わない。但し，水温が高いと酸素不足になるので換水する。
  - 河川，湖沼，ため池などで浸種しない。残液，廃液を捨てたり，流入のないようにする（魚介類への影響）。
- 種子粉衣の場合（水稻，はとむぎの場合を除く），容器の中で所定量が乾燥種子に均一につくよう少量ずつ粉衣しは種する。
- 麦類の種子粉衣の場合，機械は種では本剤が時間とともに吸湿することがあるので，目詰りを起こさないよう注意する。
- はとむぎの種子浸漬処理の場合，乾燥種子を所定時間浸漬し，水洗せず風乾してからは種する。
- 種子浸漬の場合（水稻を除く），浸漬後水洗い

しない。風乾しは種する。

●かんしょのさし苗処理の場合は、さし苗基部(10cmくらい)を薬液に浸漬し、水洗いせずに風乾して挿苗する。

●さとうきびの種苗処理の場合は、種苗全体を浸漬し、水洗いせずに風乾して植付ける。

●共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】 .....

●周辺の桑葉にはかからないようにする(蚕毒)。

●本剤を処理した種子等を食品や動物飼料として用いない。

●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



## 【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	ペノミルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ばか苗病 ごま葉枯病 イネシנגレセンチュウ	20 倍	浸種前	1 回	10分間種子浸漬	1 回	2 回以内 (種子への処理は 1 回以内、床土への混和は 1 回以内)
		200 倍			24～48時間種子浸漬		
		乾燥種もみ重量の 0.5～1 %			種子粉衣 (湿粉衣)		
		7.5 倍 (乾燥種もみ 1 kg 当り希釈液 30 ml)			種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) 又は塗沫処理		
	ばか苗病 いもち病	200 倍			6～24時間種子浸漬		
		400 倍			24～48時間種子浸漬		
	もみ枯細菌病	乾燥種もみ重量の 1 %			種子粉衣 (湿粉衣)		
		3.75 倍 (乾燥種もみ 1 kg 当り希釈液 30 ml)			種子吹き付け処理 (種子消毒機使用) 又は塗沫処理		
	褐条病 苗立枯病 (リゾブス菌) 苗立枯病 (トリコデルマ菌) 苗立枯病 (フザリウム菌) 苗立枯病 (ピシウム菌)	乾燥種もみ重量の 0.5～1 %			種子粉衣 (湿粉衣)		
		20 倍			10分間種子浸漬		
		変色米 (カーブラリア菌)			24～48時間種子浸漬		
		200 倍			種子粉衣 (湿粉衣)		
		乾燥種もみ重量の 0.5 %			10～20分間種子浸漬		
麦 類	斑葉病 なまぐさ黒穂病 裸黒穂病 条斑病	20 倍	は種前		6～24時間種子浸漬	1 回	
		200 倍			種子吹き付け処理 (種子消毒機使用)		
		7.5 倍 (乾燥種もみ 1 kg 当り希釈液 30 ml)					
		乾燥種子重量の 0.5 %			種子粉衣		
	雲形病						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	チウラムを 含む農薬の 総使用回数	ペノミルを含む 農薬の総使用回数		
は と む ぎ	葉枯病	200 倍	は種前	1 回	72時間種子浸漬	1 回	1 回		
	黒穂病	乾燥種子重量の0.5%			種子粉衣 (湿粉衣)				
だ い ず	紫斑病	乾燥種子重量の 0.2 ～ 0.4%			種子粉衣			5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内, は種 後は 4 回以内)	
き ゆ う り	つる割病	20 倍			30分間種子浸漬			4 回以内 (種子への処 理は 1 回以 内, は種後は 3 回以内)	
	つる枯病 苗立枯病	乾燥種子重量の 0.4%			種子粉衣			6 回以内 (種子への処 理は 1 回以 内, 灌注は 2 回以内, 散布 は 3 回以内)	
ト マ ト	萎凋病	200 倍			30分間種子浸漬			6 回以内 (種子への処 理は 1 回以 内, 灌注は 2 回以内, 散布 は 3 回以内)	
す い か	つる割病	乾燥種子重量の 0.4%			種子粉衣			6 回以内 (種子粉衣は 1 回以内, は種後 は 5 回以内)	
すいかの接木 用のゆうがお									
か ぼ ち や	フザリウム立枯病	乾燥種子重量の0.5%			種子粉衣 (湿粉衣)			1 回	
か ん し ょ	黒斑病	20 倍			1 分間さし苗 基部浸漬				
		200 倍			30分間さし苗基部浸漬				
		20 倍			1 分間種いも浸漬				
さ と い も		種いも重量の0.4～0.5%			種いも粉衣				
やまのいも(むかご)	褐色腐敗病	100 ～ 200 倍			10分間種いも浸漬				4 回以内 (植付前まで の処理は 1 回 以内, 植付後 は 3 回以内)
やまのいも	青かび病				約 2 秒間種いも浸漬				
	根腐病	20 倍			種いも粉衣				
やまのいも	青かび病	種いも重量の0.3～0.5%							
とうもろこし	苗立枯病	乾燥種子重量の0.5%	は種前	種子粉衣	2回以内	1 回			
ぶ ど う	黒とう病 晩腐病	80 ～ 200 倍	休眠期	散布	3回以内 (休眠期 は 1 回以 内, 生育 期は 2 回 以内)	4 回以内 (休眠期処理は 1 回以内, 散 布は 3 回以内)			
	つる割病	80 倍							
さとうきび	黒穂病	20 倍	植付前	10分間種苗浸漬	1 回	1 回			
らっきょう	乾腐病	200 倍		24時間種苗浸漬					
				30分間種球浸漬					
に ん に く	黒腐菌核病	種球重量の 0.5 ～ 1 %		種球粉衣 (湿粉衣)					
	イモグサレセンチュウ	種球重量の 1 %							
く わ い	赤枯症 (フザリウム菌)	300 倍	種いも 貯蔵前	30分間 種いも浸漬					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む農薬の総使用回数
ペニバナ	炭疽病	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回	種子粉衣	1回	1回
		10倍			24時間種子浸漬		

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む農薬の総使用回数
日本芝 (こうらいしば)	葉腐病 (ラージパッチ) ヘルミントスポリウム葉枯病	1000倍	発病初期	6回以内	1㎡当り 1～2ℓ 散布	8回以内	8回以内
西洋芝 (ペントグラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ) ヘルミントスポリウム葉枯病						
西洋芝 (パーミューダグラス)	ヘルミントスポリウム葉枯病						

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チウラムを含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む農薬の総使用回数
豆類 (種実)	フザリウム・リゾクトニア菌による病害	乾燥種子重量の0.2～0.5%	は種前	1回	種子処理機による 種子粉衣	1回	1回
野菜類		乾燥種子重量の0.4～0.5%					
花き類・観葉植物		乾燥種子重量の0.5%					